

1 新型コロナウイルス感染症に対する新たな支援

子育て世帯や事業者への支援、安全・安心のための環境整備や教育環境の整備など、市独自の新型コロナウイルス対策の第2弾として以下の追加支援策等について、7月臨時会に上程。

その中でも、特に目玉となる二つの支援策を紹介。

■子育て世帯応援事業（総事業費：3億5,397万4千円）【子ども課】

子育て世帯の経済的・精神的な負担を軽減し、早期に安心して穏やかな生活が送れるよう、市内在住の児童の保護者等を応援。

【対象】 9月1日（基準日）現在、糸島市に住民登録がある0歳から18歳（令和2年度末までに18歳に到達する子ども）がいる保護者等。（17,300人、9,500世帯）

【内容】 子ども一人あたり2万円
（※10月中旬に支給開始予定）

■プレミアム付き地域商品券事業（総事業費：1億500万円）【商工観光課】

糸島市商工会が実施するプレミアム付きの福岡県地域商品券に市が上乗せして補助。

市内消費を喚起することにより、商工業の振興、地域経済の活性化を図る。

【商品券販売額】 5億円（過去最大規模）
【プレミアム率】 30%（県：10%、市：20%）
【発行総額】 6億5千万円分（10,000円×50,000冊分）
（※9月中旬頃から商品券引き換え開始予定）

【参考】その他の支援策等

- ◎高齢者見守り事業【介護・高齢者支援課】
- ◎子育て世代包括支援事業【子ども課】
- ◎児童扶養手当等支給事務【子ども課】
- ◎ひとり親世帯臨時特別給付金【子ども課】
- ◎林業者緊急支援給付金【農林水産課】
- ◎雇用調整推進奨励金【商工観光課】
- ◎地域防災対策【危機管理課】
- ◎学習保障に係る支援【学校教育課】
- ◎スクール・サポート・スタッフの配置【教育総務課】
- ◎小・中学校保健衛生管理【学校教育課】
- ◎小・中学校教材等購入事業【学校教育課】
- ◎体育施設管理運営【学校教育課】

2 国際寮『セトルインターナショナル』がオープン！

「地域の国際化に関する協定」（平成29年5月締結）を基礎に、産学金官の6者連携による「糸島市九州大学国際村構想」の実現化第一弾として、8月22日（土）にオープン（居住開始）。

■オープニングセレモニーの開催

国際寮『セトルインターナショナル』のオープンを記念し、以下のとおりセレモニーを開催。当日は内覧会も予定。

【開催日時】 8月23日（日）

【開催場所】 セトルインターナショナル（泊900-3）

【開催スケジュール】

10:00～10:45 受付・内覧会

11:00～ 記念式典

【来賓】

市三役、市議会議員、九州大学総長、地権者、
地元行政区役員、前原北部まちづくり推進協議会、
関係金融機関などを予定。

◎参考：施設概要

- ・鉄筋コンクリート造（6階建て）
- ・全240室（家具・家電完備、朝夕食付プランあり）
【Aタイプ】 21.69㎡：34,000円～39,000円／月
【Bタイプ】 18.48㎡：30,000円～33,000円／月
（※間取りはすべてワンルーム）



【外観イメージ】



【内観】



【Bタイプイメージ】

3

『糸島市ふるさと応援寄附』 寄附額が大幅に増加

令和元年度の寄附額は、前年度の約1.4倍、寄附件数も約1.3倍に増加。

寄附額等の推移については、平成27年度以降、寄附額及び寄附件数ともに右肩上がり増加している。

■令和元年度の寄附実績及び寄附額の推移

◎寄附額：6億9,865万円（前年比：142%）

◎寄附件数：2万7,115件（前年比：129%）

■寄附額の主な増額要因

◎ポータルサイトの活用により、平成27年度以降は右肩上がり

- ・平成27年11月～「ふるぽ・ふるさとチョイス」が開設
- ・平成29年8月～「さとふる」が開設
- ・平成29年12月～「楽天ふるさと納税」が開設

◎平成30年9月に楽天サイトの運営業者が変更

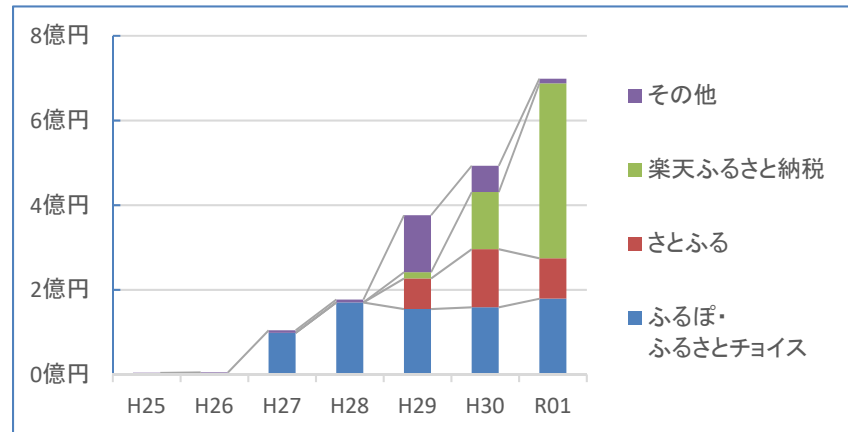
運営業者（株）スチームシップが返礼品を増加。品数に比例して寄附が激増。

（H30：180品、R1：582品、R2.7現在：908品）
※R2.7現在の全サイトの取扱い品数：約1,600品

【寄附額】

- ・平成30年度：1億3,500万円
↓（約3倍）
- ・令和元年度：4億1,300万円

【寄附額の推移とポータルサイトごとの内訳】



【参考：令和元年度の寄附額の使途内訳】

使途	寄附額	割合	件数
1.自然環境の保全	8,759万円	12.5%	3,185件
2.市民活動の推進	452万円	0.7%	162件
3.都市基盤整備又は産業の振興	3,011万円	4.3%	898件
4.子育ての環境又は子どもの教育の充実	1億5,999万円	22.9%	6,031件
5.市民の健康づくり又は福祉の向上	2,732万円	3.9%	954件
6.文化財保護又は伝統文化の継承	1,611万円	2.3%	628件
7.九州大学との連携によるまちづくり	2,862万円	4.1%	1,042件
8.市長が特に必要と認めた事業 (学校教育施設整備事業、10周年記念事業)	3億4,440万円	49.3%	14,092件